

令和 8 年度 やすきた LMO 事業計画書

1 今年度の目標

・ 設立 2 年度目に入り、地域に対する認知度を高める。
・ 地域課題のうち、一番深刻な衰退化を解決するため、新たに 5 事業を実施する。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	やすきた LMO 子ども食堂（なごみ食堂）	(5) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	高長集会所	
(3) 参加者数	毎回 100～150 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 やすきた LMO	
4 取組内容	地域住民（老若男女）が気兼ねなく集い食事をするところを提供する（月 1 回程度）。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民同士の連携を目的とすることにより老若男女が集い孤立することがなくなる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の住民同士が顔見知りになることにより気兼ねなく挨拶や話ができ、防犯の面でよい効果が期待できる。	

1 事業名	防災キャンプ	(5) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 8 月 8 日 ～ 令和 8 年 8 月 9 日	
(2) 実施場所	広島市立安北小学校	
(3) 参加者数	毎回 30～40 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 やすきた LMO	
4 取組内容	地域の子どもの防災意識を高めることにより将来的な活躍を期待する。 ビニール袋を使った炊飯、空き缶を使った炊飯、飯盒・メスティンを使った炊飯、火起こし体験、テントの組み立て、汚水の浄化体験などを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域の子どもの防災意識を持ってもらい、将来に向かって活躍できる人材を育てる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の子どもの防災力の向上を図る効果が期待できる。	

1 事業名	三世代ふれあいまつり	(5) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 9 月 26 日	
(2) 実施場所	広島市立安北小学校体育館	
(3) 参加者数	毎回 140～150 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 やすきた LMO	
4 取組内容	地域の子どもから高齢者までの三世代が参加できる交流イベントを開催し、昔遊び体験やゲーム、ステージ発表、食事等を交えて世代間交流を促進する。住民同士のつながりを深め、地域コミュニティの活性化と支えあいの意識づくりを図る。	
5 目的・効果		

- (1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。）
 地域の高齢者に感謝する機会を作ることにより、先人の知恵を伝承する。
 地域の高齢者と若い世代の交流を図り、地域住民のきずなを取り戻すことを目的とする。
- (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。）
 地域の子どもたちが高齢者を敬い尊敬の念を抱くこと、高齢者が若い世代に理解を深めお互いに触れ合うことができるとともに、顔の見える関係づくりにつながる。

1 事業名	やすきた和フェス	(5) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 11 月 21 日	
(2) 実施場所	広島市立安北小学校体育館及びグラウンド	
(3) 参加者数	毎回 800 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 やすきた LMO	
4 取組内容	夏祭りを衣替えして秋に開催することにより地域住民が集まりやすくする。フリーマーケットや夜店などを開催するとともに神楽鑑賞や地域団体による演技・演奏を披露する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域の住民同士のふれあいを活性化し、顔見知りになる場所、機会を作ることとする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の住民による手作りの祭りにして賑わいを創出することにより、地域の活性化を図ることの効果を期待する。	

1 事業名	やすきた餅つき大会	(5) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 9 年 1 月 16 日	
(2) 実施場所	広島市立安北小学校体育館	
(3) 参加者数	毎回 300～500 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 やすきた LMO	
4 取組内容	地域住民の交流と世代間のつながりを深めることを目的に餅つき大会を開催する。子供から大人まで幅広い住民が参加し、臼と杵を使った伝統的な餅つきを体験するとともに、参加者同士の交流を図る。ついた餅の試食や配布を通じて地域の連帯感を醸成し、地域文化の継承や住民同士の見守り、支えあいの関係づくりにつなげる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域の住民同士のふれあいを活性化し、顔見知りになれる場所、機会を作ることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の住民による手作りの餅つきを行い賑わいを創出することにより、地域の活性化を図ることの効果を期待する。	